

プロスポーツ選手の引退に関する現代史研究

ー中田英寿に注目してー

福田孝宗

キーワード：プロスポーツ選手、引退、中田英寿

【研究の動機と意義】

プロのスポーツ選手はいつか現役引退の時期を迎える。その理由は、体力の衰え、解雇、他にやりたいことが見つかったためなど、様々である。各選手は、それぞれの思いを胸に現役を引退する覚悟を決めるのである。同様に、プロスポーツ選手の引退後のキャリアも多様である。解説者、コーチ、監督などの職を得てスポーツ界に貢献してきたかつての名選手も多い。

このように多様なプロスポーツ選手の引退の形の中で、中田英寿氏（以下敬称略、中田と表記）の引退は注目に値する。中田の引退は、我々ファン一般には驚きを持って迎え入れられた。彼の引退とその社会的な反響は、プロスポーツ選手の引退という出来事の現代史的特徴の一端を反映しているのではないかと。また現代の社会において、引退したプロスポーツ選手がいかに語り、また語られるのかを検討することは、スポーツの今日的意義を考察する手掛かりにもなるだろう。

【研究の目的】

以上の動機から、本研究では、現代のプロスポーツ選手の引退の事例として中田を取り上げ、彼の引退という出来事を、中田本人による言説と、彼の活動や言説をめぐって生産されたメディアの言説を用いながら、跡付けることを目的とする。

【研究の課題と方法】

以上の研究の現状を踏まえ、本研究では、以下の観点から検討を行うこととした。

- 1) 中田の引退に至る背景。
- 2) 中田引退に対しての本人の言説。
- 3) 中田引退という出来事の受容。

以上の検討を踏まえて、中田引退という出来事の現代史的特徴を評価することにした。はたして中田引退という出来事は、プロスポーツ選手引退に関する従来のイメージに何か新たなものをもたらしたのだろうか。あるいは、メディアの言説は、過去の評価の形を変えた再生産にすぎなかったのだろうか。

なお本研究では、主要史料として以下を収

集し、分析する。

1) Nakata.net (中田のオフィシャルホームページ) の言説。

2) 中田英寿関連書籍、論文。

3) メディアに公表された中田関連記事。

【本論】

本研究の本論は以下の 2 章構成である。

<第 1 章：引退の要因となった中田の特性>

中田の引退を検討するには、中田が引退するに至った背景を検討する必要がある。引退の要因となった中田の特性として、4 つの項目が挙げられると考えている。その内容は、理想的なプレーを追求する、自分のスタイルで楽しんでプレーをする、高いプロ意識、マスコミに対する嫌悪感である。

<第 2 章：多様な「中田引退」>

中田の引退は、ファン一般には大きな衝撃を与える出来事であった。しかし、中田を周囲で見てきた人たちの中田引退の評価は多様であった。

「中田引退」の評価として、中田本人の言説、そして彼を取り巻く人物として小松成美、次原悦子、三浦知良、名波浩、前園真聖、ジーコの 6 人を挙げて検討した。これらの人物の主な選考基準としては、中田のサッカーに対する考え方や性格など、ファン一般では知れない彼の内面を知っているであろうと思われる人物であるか否かとした。

中田本人を含めてこれらの人物の中田引退に対する見解を検討すると、それぞれが違った視点を持ち、多様な広がりを見せていることがわかった。ただ中田を取り巻く人物の見解には共通する点も存在した。それは、中田

がああのタイミングで引退を決断したことを尊重し、受け入れているという点である。中田の内面を理解しているであろうこの 6 人にとってこの引退という決断は、中田の特性やこれまでの苦悩を考えると当然の選択だったと考えているのかもしれない。

【結論】

毎年数多くのプロスポーツ選手が現役を引退する。引退する理由はさまざまであり、引退後の生き方もさまざまである。その中で中田の引退は日本のスポーツ界において特異と言えるであろう。多くのプロスポーツ選手が新聞やテレビなどを通じて我々に間接的に引退を表明するのに対し、中田は引退するという事実を自身のホームページを通じて直接我々に伝えた。また彼は、サッカーが自分のすべてではなく、サッカー生活は自分の人生の一時期にすぎないと考えていた。この考え方はスポーツ選手の引退後の生活を充実させるのにプラスになるのではないかと考える。スポーツ選手が今行っているスポーツを、人生という大きな枠組みで考えたときにどう位置づけるのかを考えることは、引退後の生活をより充実したものにするために必要なことだと思われる。以上のような点で、中田引退という出来事は、日本のプロスポーツ選手の引退に関する現代史的特徴の一端を示していると考えられる。

(指導教員 秋元 忍)